

## 「書面添付シンプ」 ハイブリッド開催

### TKC南近畿会

【大阪】TKC南近畿会は10月13日、「書面添付シンプウム2021」を開催した。2020年はコロナ禍で中止となったため、2年ぶりの開催。大阪市内ホテルとTKC和歌山センターのほか、ウェブでも実施。会員102人と地域金融機関などから26人が参加した。

上田兵二・TKC南近畿会会長は「書面添付の比率の向上に取り組みしていく。金融機関と一緒に中小企業の健



全経営につなげていき  
たい」とあいさつ。  
シンプウムは「書  
面添付制度と意見聴取  
制度の現状」と題して、  
大阪国税局の白波瀬啓  
之課長補佐が講演。T  
KC南近畿会書面添付  
推進委員の山本幸司氏  
が「書面添付の意義と  
実践のポイント」を解  
説した。近畿財務局理

た。スカッションも行っ  
た。

あいさつする上田会長（10月13日、大阪市内ホテル）

財部の小笠原  
規人検査監理  
官が「金融行  
政の現状と当  
面の課題」を  
テーマに登  
壇。「信頼性  
の高い決算書  
と中小企業支  
援」をテーマ  
にパネルディ